

森林インストラクター資格取得支援講座

「森林その2」

2019年5月19日(日) 曇り 八王子市 長池公園

八王子市の長池公園で「FIT友の会」主催、森林インストラクター資格取得支援講座の四日目「森林その2」を参加者9名で実施しました。

午前中は「森林」科目後半の動物、昆虫類、鳥、きのこ、土壌、法令の各項目について内容の解説と過去問題を使用した演習を行いました。試験では穴埋め、選択穴埋め、正誤、字数指定記述式、自由記述式で出題されます。養成講習テキストから、各項目のどこが、どんな形式で出題されるのかを演習を通して体験しました。

午後は、風薫る長池公園の雑木林を歩いて「動物、昆虫、鳥、きのこを探す」実習を行いました。動物のフィールドサインは『モグラ塚』がありましたが、食痕や糞は見つけれませんでした。昆虫はチョウやトンボの成虫と、多くの種類の蛾・蝶の幼虫【毛虫と青虫】を見つけました。カイコらしき幼虫がヤマゲワの葉を食べていました。ミズキが丸坊主になっていて、今年もキアシドクガが大発生していました。

鳥はカラスとスズメの声が聞こえず、賑やかなガビチョウ、ヒヨドリ、コジュケイ、シジュウカラが鳴いていました。予想外に種類が少なかった鳥類でした。きのこは土壌から生える菌根菌はほとんどなく、切り株や倒木、道脇の土留め木に色々な腐生菌がありましたが、きのこ図鑑を携行しなかったので名称は同定できませんでした。

実習テーマの対象外でしたが、4月の「森林その1」で花を観察したキブシ、ヤマゲワ、ニワトコ、アカシデの実を観察しました。ウグイスカグラの実は食して味を試しました。今を盛りに咲いているエゴノキ、ガマズミ、クスノキ、テイカカズラの花の香りや構造も観察しました。5月の長池公園は初夏の木の花が満開です。



演習：日本の哺乳類の成立過程を調べる



良い香りのテイカカズラの花

参加者：氏家さん、川口さん、久保さん、田代さん、中林さん、福山さん、古谷さん、星野さん、三井さん
講師：槇田幹夫〔事務局代行〕

(報告：FIT友の会運営部会 槇田幹夫)





演習：鳥類の特徴を3つ挙げよ



実習：鳥のさえずりを聴く



実習：昆虫を探す（丸坊主のミズキの下で）



ミズキを丸坊主にしたキアシドクガ（蛹）



実習：昆虫を探す（ヤマグワの若葉）



ヤマグワの葉を食べるカイコ



ミズキの葉を食べる大きなアオムシ



背中に卵？をつけたアオムシ